



滋賀県レイカディア大学米原校

サポート隊通信



平成29年2月1日 第9号

第5期サポート隊のスタートにあたって

レイカディア大学米原校のサポート隊は設立から5期目を迎えました。前年度は、サポート隊の組織を2部会6活動グループから7つの活動部会へ変更になり、サポート隊の2年目の隊員が中心となって運営する形が定着した年でした。またサポート隊の重要性の認識が高まり、隊員数も前期72名から今期87名と大幅に増加しました。

今期はこれらを基盤として、いままでの活動を継承するとともに、次の項目を重点的に活動していきます。



**“学生募集の促進”と
“草津校との交流促進”を重点的に**

第5期 サポート隊隊長 北村喜代嗣

ひとつめは、学生募集の促進です。今期39期生の入学者は39名と直近の5年間で一番少なく、定員70名の6割にも満たない人数まで減少しています。理由はいろいろありその分析も必要ですが、大きな理由のひとつは、レイカディア大学の認知度がまだまだ低いことです。認知度を向上させ、学生募集の促進を図ります。

ふたつめは、草津校との交流促進です。草津校サポート隊は今期7期目に入り米原校サポート隊の先輩になります。活動内容も学生募集支援活動、えにしの会との連携、学長懇談会など幅広く活動されています。草津校サポート隊との定期交流会の開催、相互の交流行事への参加など通じて、交流を深め草津校の良いところを吸収したいと思います。

サポート隊全員がいきいきと元気に明るく活動している姿を見せるのが、一番のサポートだと思います。隊員はじめ関係者の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

**全隊員がいきいきと元気に明るく活動
する姿を見せることが、一番のサポート**



「一笑一若一怒一老」をモットーに



レイカディア大学事務局

橋本 澄男

今、国では「一億総活躍社会」の実現を掲げ、政策を進めています。

これは、若者も、高齢者も、女性も、男性も、障害のある方も、一人ひとりが家庭や地域や職場で自分の力を発揮し、生きがいを持てる社会の実現をめざすというものです。

毎年約200人もの地域活動の担い手を送り出している「レイカディア大学」は、まさに「一億総活躍社会」実現の一翼を担っているものと考えます。

こうした中、サポート隊の皆様には協働による大学運営ということで、在学生への多様なサポート・メニューによる支援、大学事務局へのお力添えをいただいております。まさに大学運営に無くてはならない存在となっています。

なお、ご活動をいただく中で、意にそぐわないことや不愉快な思いをされることもあるかと思いますが、皆様のサポートを得て在学生が楽しく学び、また皆様もチームワークのもとに楽しく活動していただきたいと思います。

中国に「一笑一若一怒一老（いっしょういちじゃくいちどいちろう）」という諺があるそうです。人間一度笑うとそれだけ分若返り、一度怒るとそれだけ分老けるという意味です。

怒りたくなることは誰にでもあります。しかし、笑いはその場を和ませて明るくします。

また「笑顔に勝る化粧なし」という、いい言葉を最近耳にしました。

皆様には「笑顔」で、若々しく、楽しく、大学運営に今後ともご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



各部会の取り組みと活動方針

園芸学科部会



部会長
大谷 利春

紅葉も過ぎ、里山の樹木も冬支度の頃となりました。

さて、今回第5期サポート隊園芸学科部会長仰せつかることになりました。園芸学科部会は、前年度に引き続き、園芸学科選択講座(校外学習)のスケジュールに合わせ、講師、北村正隆先生の補助として活動します。剪定実習は、園芸梯子を使った高所作業もあります。安全第一で、楽しい学習になるようサポートしていければと思います。



剪定実習 (伊吹薬草の里文化センター)

園芸学科部会も新たに37期卒業生9名が加わり、総勢18名(男子11名女子7名)で活動します。よろしく願います。

北近江文化学科部会



部会長
速水 貞夫

北近江文化部会のサポート活動

北近江文化部会の取組は活動方針を通じ、地域の担い手として必要な知識や考え方また地域活動体験をサポートするのが目的である。

郷土の歴史や文化と出合いの交流で仲間意識づくりを深め、活性化にサポートを進めたい。
A. 地域活動の推進に関するサポート。

郷土の歴史、文学、民俗など、講義と校外学習のサポート。
B. 草津校地域文化学科との交流

流で仲間づくりサポート。
C. 学生募集等に関する活動。
イ 米原校入学者減少対策取り組み

ロ レイ大同窓会の支援各種団体の地域活動
D. その他 達成するための必要なサポート。



平成 28 年 5 月、特養でのボランティア

健康づくり学科部会



部会長
野村 彰彦

健康づくり学科部会では、今期も在校生の皆さんと「手作りゲーム」をメインとした交流会、大学祭での体力測定コーナーの支援を計画しています。

過去三回の交流会では、健康レクリエーション学科で学ばれたサポーターの先輩方が、授業で習得され、また新たに考案され地域活動などで取り入れられたゲー

ムなどを教えていただきました。幸い数名、部会にお残りいただきましたので、今期も内容を検討し、楽しい交流会にしたいと思います。

ただ在校生の皆さん方の思いもあるかと思しますので、学科長、副学科長のお考えもお聞きし、進めてまいりたいと思います。



で、ダンス & ゲーム
楽しく、皆で

大学祭部会



部会長
戸嶋 滋一

① 取り組みの基本的な考え方
より良い大学祭が開催できるよう、大学祭部会として主導的に企画運営をしていきますが、大学祭は全校あげての行事であり、サポート隊としても総力

をあげての支援体制をお願いします。
発表のテーマは昨年同様「明るく、仲よく、元気よく」とします。

② 活動方針

作品展示は、趣味の作品に偏らず、学習してきたのが見えるもの、感じられるものを意識した展示としたい。

今年度のステージ発表は、健康づくり学科部会からの発表をお願いします。

パネル発表は3学科それぞれパネル3枚程度に日頃の活動状況を発表してください。

余興は、いろんなグループがボランティア活動等に取組んでらっしゃるので、毎年あたらしいものも含めて紹介していきたい。



平成 28 年度 大学祭

広報・情報部会



鳥越正夫 部長

今やホームページや発表資料はパソコン利用が欠かせない存在になってきており、第5期広報・情報部会としてはそれらを踏まえ、身近で手軽に活用できる学習支援活動が出来ればと考えています。

① 39期生のホームページが早急に立ち上げられる講習会の開催を11月10日、18日の2日間で実施。サポート隊8名が支援活動を行いました。

② テーマ発表などに有効活用できるパワーポイント講習を3月頃開催の予定。

③ サポート隊ホームページを毎月更新し、最新の活動状況が閲覧できるようにする。

④ サポート隊活動PRを図る通信の9号を2月に、10号を8月に発行を計画。



ホームページ講習会 (H28.11)

これらの活動を通じて私達自身もスキルアップを図って参りたいと思っています。

交流行事部会



村林淳子 部長

学科別の交流行事でなく、レイ大OBと在校生・地域住民とが一緒に交流を持ち地域貢献することを目的とした交流行事部会は今年15名で取り組んでいきます。活動内容としては

① 愛知川河畔林整備(愛林活動)。

② 大学祭での粘土細工体験コーナーの担当。

③ 草津校サポート隊との交流事業。

を予定しています。

愛林活動は毎年参加者が増え、レイ大の知名度を上げると共に、この楽しさを地域の方にも知って頂きたい。又、レイカディア大学に関心をもち入学のき



愛知川河畔林整備



つかけづくりになればとも思います。益々レイ大の輪が広がりますように皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

総務事務局部会



松井弘子 部長

第5期サポート隊はかつてないパワー(8名の大きな組織)となり7部会で展開して行くことができます。総務部会は第4期同様3名体制で活動していきます。

各部会の組織編成も36期の部長、37期の副部長と次期につなげるべき体制作りも整ってまいりました。各部会も先輩諸氏の活動を受け、さらなる飛躍ある計画をしておられます。

サポート隊定期総会 (H28.9.29)



各部会の活動がより充実したものになるよう、総務部会はサ

園芸学科部会サポート活動の紹介と雑感



28年10月より女性7名を含む18名で園芸学科部会サポートがスタートしました。活動は、38期生の11月1日伊吹薬草の里文化センターの樹木、および11月8日近江八幡市立八幡小学校校庭の樹木剪定の実習からです。両日とも強風や小雨の悪条件の中の作業でしたが、先生の指導の下、それぞれの施設にあった樹木の剪定実習サポートができました。

4月以降の後期は、徳源院、甲良養護学校、消防学校など1年生、2年生とも本格的に選択授業の樹木管理や剪定実習サポートに携わります。サポート隊の腕前や力量が試されるとともに、また剪定技術の勉強できる良い機会でもあり在校生との交流も深めたいと思います。

またサポート隊はこれらの講師先生の授業補助のみならず、在校生や関係者のけがの未然防止の意識付けも大切なサポートと思います。皆さんのご協力をお願いします。

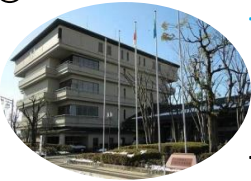
私の在学中のことです。休憩中、女性サポート隊の方から、「この樹木のこのあたり枝が混みあって少し気になるねん。基本3原則守ってないのと違う？」と言って木に登り、のこぎりで枝一本を切られました。この時、木全体が整ったと感銘を受けサポート隊の方を見直したことがありました。このことが入隊のきっかけになりました。雑感です。



園芸学科部会37期生 中澤 修

ポートしていきたいと思いません。在校生と卒業生のつながりをサポート隊が潤滑油となり、スムーズな各部の活動をしていただけるよう努力していきます。皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

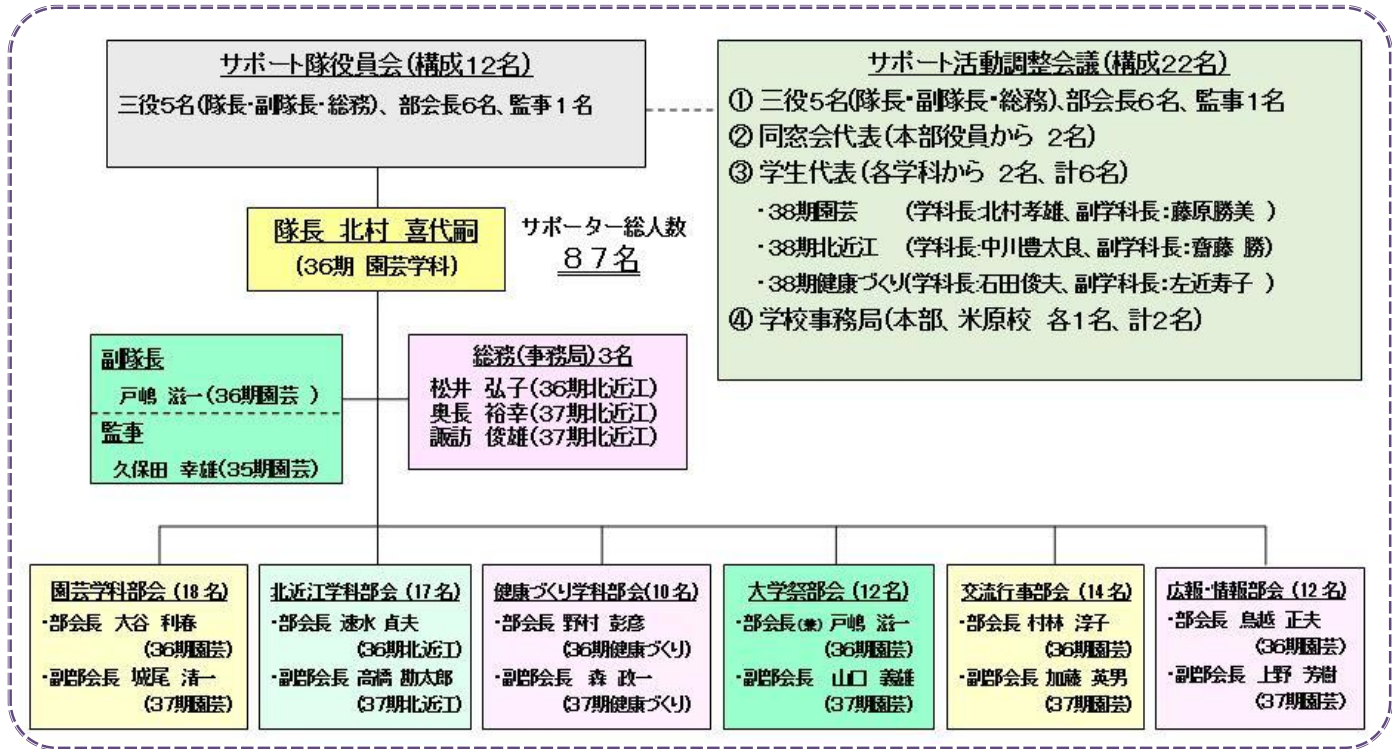
第5期 レイカディア大学(米原校)サポート隊組織図



サポート隊の設置目的：

レイカディア大学「米原校サポート隊」は高齢者が時代の要請する実践的な新しい知識、教養を身につけ、地域の担い手として登場できるようにレイカディア大学に提言して、協働によるレイカディア大学の運営に資することを目的とする。

サポート隊の構成：レイカディア大学（米原校）の卒業生等で、レイカディア大学学長から「滋賀県レイカディア大学サポート隊サポーター」を委嘱された者により構成する。



現在のレイカディア大学米原校学生数

	38期生	39期生	合計	定員
園芸学科	29人	21人	50人	60人
北近江文化学科	11人	10人	21人	40人
健康づくり学科	9人	8人	17人	40人
合計	49人	39人	88人	140人

* 在学生数：H29年1月5日 米原校事務局 確認 (橙色：定数の70%未満 by 通信編集委員)

滋賀県レイカディア大学米原校

サポート隊通信

平成29年2月1日 第9号

発行：滋賀県レイカディア大学米原校サポート隊
(広報・情報部会)

□米原市下多良 2-137(県立文化産業交流会館)

滋賀県レイカディア大学米原校内

□電話：0749-52-5110

□HP：<http://lacadia-clg.com/lacadia-clg-maibara/lacadia-clg-maibara-index.htm>

編集後記

サポート隊通信 第9号をお届けします。

今第5期サポート隊は、隊長・副隊長を初め、各部会長には36期生が、又副部会長には、次年度の主力役員就任を前提に37期生が配置される新体制となりました。全員でサポート活動を盛り上げ、レイカディア大学の魅力を伝え、新入学生の獲得につなげましょう。

